

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第3区分

【発行日】平成26年12月18日(2014.12.18)

【公表番号】特表2013-542302(P2013-542302A)

【公表日】平成25年11月21日(2013.11.21)

【年通号数】公開・登録公報2013-063

【出願番号】特願2013-538139(P2013-538139)

【国際特許分類】

C 08 J	9/18	(2006.01)
C 08 L	25/06	(2006.01)
C 08 L	23/02	(2006.01)
C 08 L	53/00	(2006.01)
C 08 K	3/34	(2006.01)
C 08 K	3/26	(2006.01)
C 08 L	23/06	(2006.01)

【F I】

C 08 J	9/18	C E S
C 08 J	9/18	C E T
C 08 L	25/06	
C 08 L	23/02	
C 08 L	53/00	
C 08 K	3/34	
C 08 K	3/26	
C 08 L	23/06	

【手続補正書】

【提出日】平成26年10月31日(2014.10.31)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

発泡剤含有ポリマー溶融物をダイプレートを経由して押出し、1.5~15barの範囲の圧力下で、液体含有チャンバー中でペレット化する、気孔を含む発泡性熱可塑性ポリマービーズの製造方法であって、

発泡剤含有ポリマー溶融物を用い、

該溶融物が、

発泡剤含有ポリマー溶融物に対して

0.1~5質量%の核剤D)と、

1~10質量%の、実質的に該ポリマービーズ中に残留する発泡剤E)と、

0.01~5質量%の気孔形成用の共発泡剤F)とを含む発泡性熱可塑性ポリマービーズの製造方法。

【請求項2】

上記の発泡剤含有ポリマー溶融物が、核剤D)として、タルク、二酸化ケイ素、マイカ、粘土、ゼオライト、炭酸カルシウムまたはポリエチレンワックスを含む請求項1に記載の製造方法。

【請求項3】

上記発泡剤含有ポリマー溶融物が、発泡剤 E ) として、脂肪族の C<sub>3</sub> - C<sub>7</sub> - 炭化水素またはこれらの混合物を含む請求項 1 または 2 に記載の製造方法。

【請求項 4】

上記発泡剤含有ポリマー溶融物が、気孔形成用の共発泡剤 F ) として、窒素、二酸化炭素、アルゴン、ヘリウムまたはこれらの混合物を含む請求項 1 ~ 3 のいずれか 1 項に記載の製造方法。

【請求項 5】

上記発泡剤含有ポリマー溶融物が、0.5 質量 % 未満の水を含む請求項 1 ~ 4 のいずれか 1 項に記載の製造方法。

【請求項 6】

上記液体含有チャンバーが、20 ~ 80 の範囲の温度で運転される請求項 1 ~ 5 のいずれか 1 項に記載の製造方法。

【請求項 7】

上記発泡剤含有ポリマー溶融物が、上記発泡剤含有ポリマー溶融物に対して、  
A ) 45 ~ 97.79 質量 % のスチレンポリマーと、  
B 1 ) 1 ~ 45 質量 % の、融点が 105 ~ 140 の範囲にあるポリオレフィンと、  
B 2 ) 0 ~ 25 質量 % の、融点が 105 未満であるポリオレフィンと、  
C 1 ) 0.1 ~ 25 質量 % のスチレン - ブタジエンブロックコポリマーまたはスチレン - イソプレンブロックコポリマーと、  
C 2 ) 0 ~ 10 質量 % のスチレン - エチレン - ブチレンブロックコポリマーと、  
D ) 0.1 ~ 5 質量 % の核剤と、  
E ) 1 ~ 10 質量 % の、実質的にポリマービーズ中に残留する発泡剤と、  
F ) 0.01 ~ 5 質量 % の気孔形成用の共発泡剤とを含む  
請求項 1 ~ 5 のいずれか 1 項に記載の製造方法。